

【別紙1】

経営比較分析表

山口県 阿武町

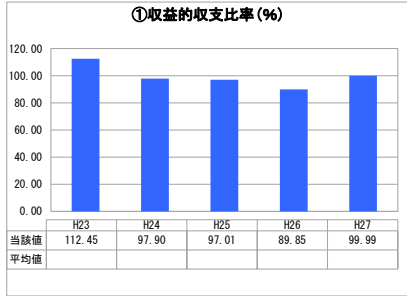
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	26.17	100.00	4,320

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,581	115.95	30.88
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
929	0.22	4,222.73

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



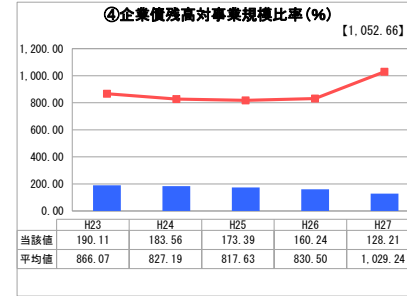
「単年度の収支」



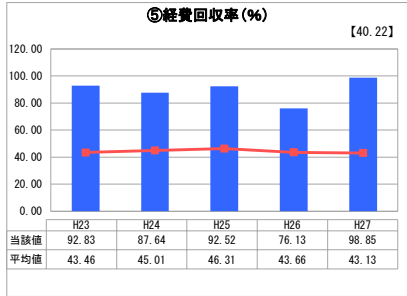
「累積欠損」



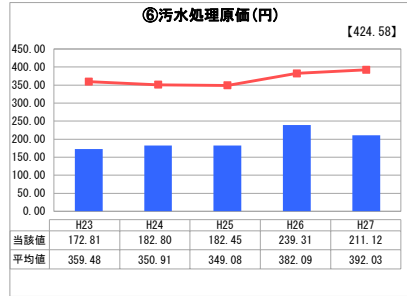
「支払能力」



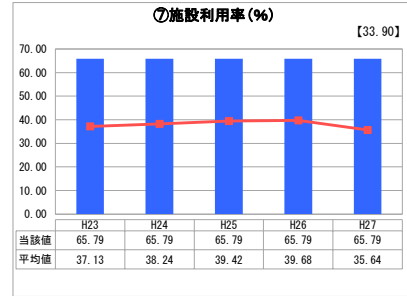
「債務残高」



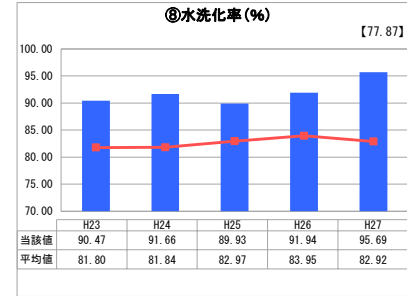
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

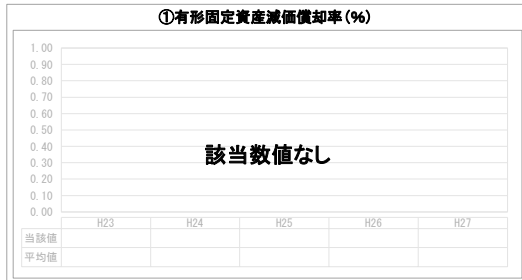


「施設の効率性」

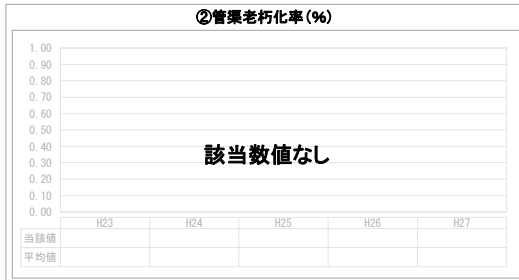


「使用料対象の捕捉」

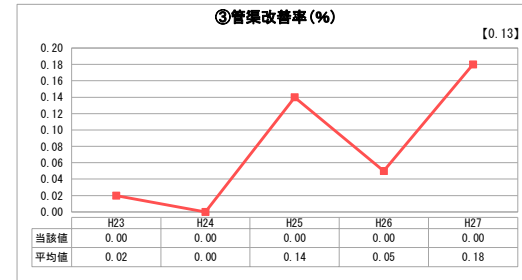
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・収益的収支比率は、わずかではあるが100%を下回っているため、今後も計画的な機械設備の更新等による汚水処理の効率向上や使用料の見直し等、経営改善の取組が不可欠である。
- ・企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均値を大きく下回っているため、今後も計画的な機械設備の更新等による汚水処理の効率向上や使用料の見直し等、経営改善の取組が不可欠である。
- ・経費回収率は、全国平均を上回っているものの100%を下回っているため、今後も計画的な機械設備の更新等による汚水処理の効率向上や使用料の見直し等、経営改善の取組が必要である。
- ・汚水処理原価は、全国平均を下回っているものの、今後も計画的な機械設備の更新等による汚水処理の効率向上や使用料の見直し等、経営改善の取組が必要である。
- ・施設利用率及び水洗化率ともに、全国平均を上回っているものの、今後も未加入者の調査、新規加入者の勧誘等、経営改善の取組が必要である。

2. 老朽化の状況について

町が管理する漁業集落排水施設は3地区であるが、竣工年度は平成元年から平成10年で、もっとも古い施設は28年が経過している。当施設については既に調査済みで、今後計画的な改修を予定しているが、他地区についても同様の措置が必要となる。

全体総括

少子高齢化等、人口減少が著しい状況下、健全運営のハードルは高いが、今後の人口減少や需要予測等を踏まえながら、まずは現状把握に努め、機能診断及び最適整備構想のもと、長寿命等計画的な施設の改善及び維持管理に努める。また、可能な限り効率化を図るとともに、適宜利用料金の見直し等も検討する。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。  
 ※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。